

子どもの 居場所の！

感染症対策 ガイドブック



作成・発行: 子どもと遊びプロジェクト
[Facebook](#) ▶ 
ももやまこども食堂
一般社団法人千和
社会福祉法人勇翔福祉会コスモストーリー保育園
那霸市国場児童館(一般社団法人沖縄じんぶん考房)

お問合せ:NPO法人沖縄県学童・保育支援センター
電話:098-870-1838

2021年3月発行

はじめに

「子どもたちの遊びは、人として成長するための大切なもの。

コロナ禍で、制限が増えてしまった子どもの遊びを、もう一度取り戻したい！」

そんな思いをカタチにするために、

子どもたちの充実した遊びの環境と感染防止対策との上手なバランスのとり方を、

子どもの育ちの現場にいる私たち大人が考え、チャレンジしていくために、

このガイドブックを作成しました。

このガイドブックでは、子どもの遊びと感染防止対策とのバランスのとれた環境づくりを、

放課後児童クラブや児童館・子どもの居場所や保育園などの運営者が

取り組んでいけるように、現場でがんばる先生方の不安や心配が少しでも取り除けるように、

具体的な感染防止対策を考える際の判断材料となる情報をまとめました。

新型コロナウイルスにはまだまだ未解明な点も多く、変異株の発現などもあります。

「これで大丈夫！」という対策はありませんが、

現場での感染症対策の工夫を続けるために、

役立てていただけたら幸いです。



1. 新型コロナウイルスについて P.2

2. 子どものあそびと発達 P.3

3. コロナ禍による子どもの心身への影響 P.5

4. コロナ禍の子どもの居場所の運営について P.6

5. アンケート項目・意見へのQ&A P.7

6. コロナ禍を子どもの環境を見直すチャンスに P.9

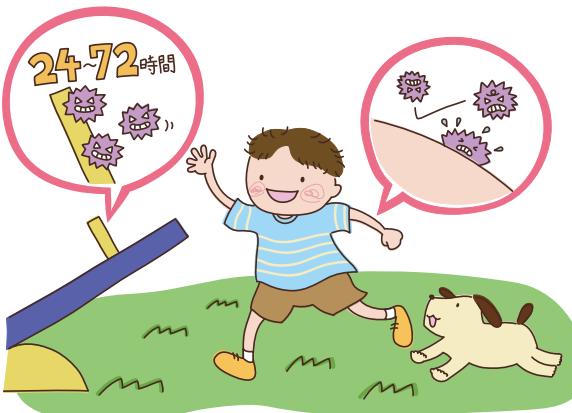
7. 情報ページ P.10



1 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスの特徴

物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、24時間～72時間くらい感染する力を持つと言われています。



新型コロナウイルス(SARS-CoV2)はコロナウイルスのひとつです。粘膜などの細胞に入り込んで増えることができますが、健康な皮膚には入り込むことができず付着するだけと言われています。

新型コロナウイルスは他のコロナウイルスと違い、さまざまな生き物が感染するようです。これまでに、ヒトからイヌ、ネコが感染した例があります。

どうやって感染する？



呼吸器系のウイルスなので、ひとからの飛沫や、表面に付着したウイルスを手で触れてから眼や鼻や口を触ることで感染します。



感染した人が発症する2日前から症状が現れた頃が感染力も高く、発症後10日程度まで感染力があると言われています。

※無症状の陽性者の感染力は高くないと言われています。



発症すると、発熱やせき、倦怠感(体のだるさ)、味覚や嗅覚の消失などの症状が出ることが一般的です。

子どもの感染

子どもへの感染の多くは、同居している保護者などからのものです。

子どもが発症すると、発熱や乾いた咳などの症状がみられます。鼻汁や鼻づまりなどの上気道症状は比較的少なく、すぐに快復することが多いです。

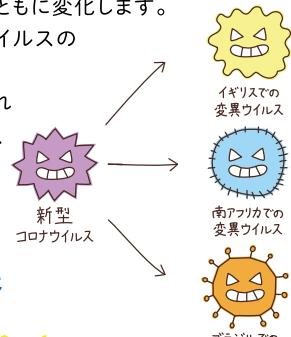
子どもは、大人と同じように感染はしますが、子どもから成人への感染する事例は少ないです。

2歳未満の乳幼児や基礎疾患がある子どもは重症化する可能性があります。



新型コロナウイルスの変異株

すべてのウイルスは時間とともに変化します。変化したウイルスは元のウイルスの変異株と呼ばれます。英国と南アフリカでそれぞれ行われた予備調査によると、どちらの変異株も、より感染力が強いことが示されています。



PCR検査

検査によって体内に新型コロナウイルスが存在し、感染しているかを調べるための検査です。感染している場合には陽性と反応しますが、陽性者が全て発症するわけではありません。

参考：厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般向け)・日本小児科学会ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関するQ&A

参考

新型コロナに関する最新の情報は右記より

厚生労働省ホームページ
新型コロナウイルス感染症について

一般社団法人日本感染症学会
ホームページ



公益社団法人日本小児科学会ホームページ
新型コロナウイルス関連情報



世界保健機関(WHO)ホームページ
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
WHO公式情報特設ページ



2 子どもの遊びと発達

子どもの遊びを保証したい理由

子どもたちは、遊びを通して社会を理解し、人を理解し、自分の身体の使い方、物や道具を使って成果を得る体験をくり返して、脳と身体を発達させていきます。子どもたちにとっては、外で遊ぶことも、友だちと遊ぶことも、日々必要なものなのです。新型コロナウイルスの感染防止対策のため、遊びの種類や、遠足などの行事を減らすなど、子どもの日常の遊びの豊かさや体験の機会を制限せざるを得ない時もあります。しかし、子どもの日常に関わる施設では、子どもの発達年齢や特定疾患の有無、家族などにも配慮しながら、子どもの成長の機会に配慮した感染対策を検討し、できることから実践して、遊びや体験を充実させていきましょう。

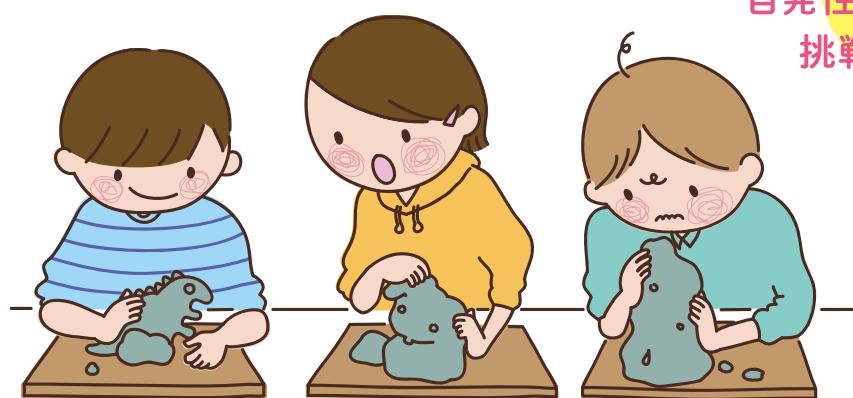
遊びによる 子どもの発達とは！

体を動かすことなどによる
身体機能の発達



他者との関わることや
ルールのある遊びによる
協調性や社会性の発達

失敗から学び
解決策を見出すことによる
**自発性や新しい事への
挑戦意欲の増進**



様々な体験をすることによる
**創造性や柔軟性の
発達**

琉球大学教育学部学校教育専攻 子ども教育開発専修
准教授 岡花 祈一郎さん



今も昔も、子どもは、親から「遊んではばかりいないで勉強しなさい」と言われることが多いようです。遊びと勉強とは別物で、宿題をせずに遊んでいると大人に怒られてしまうという現実があります。しかし、遊びと学びは別物なのでしょうか。

子どもたちにとって、遊びは必要不可欠な経験です。遊びを通して、学校の授業では学べない友だちへの配慮、探究する力、問題解決能力、柔軟な思考力を身につけていきます。つまり、遊びを通してさまざまなことを学んでいるのです。遊びを通して、子どもは自分らしさをみつけ、自己を形成していくのです。

コロナ禍のなか、子どもが思い切り遊ぶことができる保育所・幼稚園・認定こども園、そして、児童館、放課後児童クラブの果たす役割は大きいものです。

①屋外での遊び、そして、複数の遊びを広げよう

可能な限り屋外で思い切り身体を動かす活動を取り入れてみましょう。また、ひとつの遊びを全員でするのではなく、複数の遊びを子どもが選択できる保育環境を整えましょう。子どもの興味を引き出し、結果として、密を避けることにつながります。

②子どもが安心して遊べる環境づくりを

保育者、支援者は子どもにとって「安全基地」となります。大きな声で子どもに指示するのではなく、子どもの声に耳を傾ける保育者でありたいものです。「この人だったら自分の話を聞いてくれる」、という信頼関係が土台となり、子どもの自己肯定感を育みます。

③遊びは提供するのではなく、子どもの遊びに伴走する姿勢を

遊びとは、大人から与えられ消費されるものではなく、本来、創造的な活動です。この人と一緒なら、みんなで楽しく遊べる、我を忘れて遊び込める、そんな子どもの生活と遊びに伴走する保育者・支援者が求められています。



3 コロナ禍による 子どもの心身への影響

子どもたちは、コロナ禍でさまざまなストレスを感じ、ストレスに対処するための何かのサインを、行動、表情、話の中に出していることがあります。普段と違う様子が見受けられる場合は、少し関わりの密度を高め、子どもたちが今の気持ちを話せるように聴くことを意識しましょう。また、低年齢の子どもは感情を表現する言葉が少ないので、心の中の感情がどんな言葉に当てはまるのかと一緒に見つけていくことも、大切な学びになります。

法政大学文学部心理学科
教授 渡辺 弥生さん



不安やストレスというのは、いつの間にか近づいてきて、なんとなく身体や心の具合を悪くさせます。特に、このコロナ禍は得体がわからない病原菌に感染することへの不安からさまざまなネガティブな感情を抱きやすいものです。
まずは、「それは疲れたね」と気持ちに寄り添うようにしましょう。共感してもらえると、子どもたちは居場所ができたようなほっこりした気持ちになります。
そして、次のように関わってみましょう。

①先の不安をなくす言葉かけをする 子どもは、先のことを見通す力がまだ弱いので、嫌なことがあると「また明日も…」「どうせ…」「やっぱり…ダメだ」と否定的な言葉ばかり思いついてしまいます。「明日は明日」「今日休んで忘れよう」「次はいけるよ」といった先のことをポジティブに考えられるよう導きましょう。

②子どもにわかるようなエビデンスを説明し安心させる 子どもの発達に応じて、理解の仕方は変わります。例えば、病気の原因について5歳の子は、「寝ている間にバイキンが歩いてくる」といった理解ですが、7歳になると「口や体の中にバイキンが入る」と理解できるようになります。11歳になると「体の免疫力が落ちるから」といったことがわかるようになります。大事な知識をわかるように教えてあげて、安心して、予防する行動が取れるように導きましょう。

③まったく、充電する時間と空間をあげよう

子どもにもぼやっとしたりリラックスできる時間や空間を保証してあげましょう。大人が思う以上に、子どもたちは日々の些細なことからストレスを溜め込んでいます。ゆったりした呼吸法を教えてあげたり、楽しい物語を読んであげたりすると良いでしょう。



4 コロナ禍の子どもの居場所の運営について

コロナ禍で子どもの居場所を運営する際には、新型コロナウイルスの特徴と、感染防止対策をふまえて、行事や遊び、食事、空間づくりをしていく必要があります。人と関わりながら過ごす日々において、感染しないことは不可能なので、なるべく可能性を減らし、感染を広げないための取り組みをしていきましょう。

新型コロナウイルスの特徴

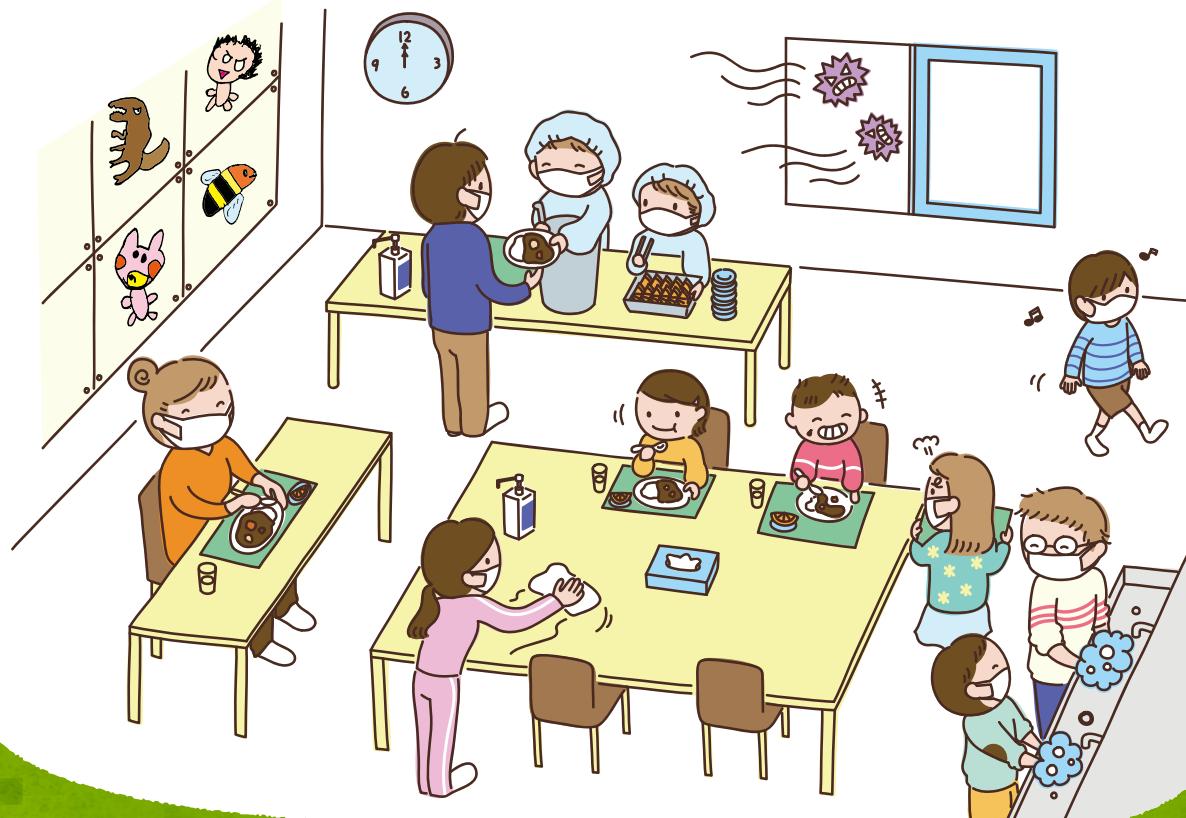
- 飛沫感染、接触感染によって広がる
- 子どもも大人と同様に感染する
- 大人から感染することが多い
- 子どもから感染することは少ない

感染予防策

- 手指衛生を行い、物品を消毒してウイルスの付着を防ぐ
- 換気を良くし、空気感染を防ぐ
- マスクを使用し飛沫感染を防ぐ

施設での感染対策

- 常時換気し、ウイルスを速やかに排出
- 施設内の清掃、消毒を行い、清潔な空間を維持する
- 職員の体調不良時に休める勤務体制づくり



運営中の対策

- 大人と子どもの食事を取る場所を分ける
- 食事の配膳の際の手指消毒、マスク着用の徹底
- 大人も子どもも、こまめな手洗い、消毒を行う
- マスクを着用した飛沫対策の実施

5 アンケート 項目・意見への Q&A

Q1.

室内でマスク着用を強制するべきでしょうか。できればしたくないのですが。

A

室内でマスクを使用することは、感染リスクの低減に効果があります。

適切にマスクを使用できる児童には着用をしてもらう方が良いですが、

利用する子どもの人数や地域での流行状況から、常時使用するかの判断をすることも必要かもしれません。



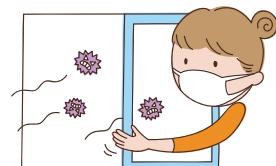
Q2.

マスクをしたがらない子どもが多いです。

A

発達段階や特性により、常時着用が難しい、マスクの管理が適切にできない場合もあります。その際には、他の感染対策で対応しましょう。

※日本小児科学会 子どもおよび子どもに関わる業務従事者のマスク着用の考え方 参照



Q3.

どうしても密になってしまいます。

A

スペースが狭いなどの理由で、どうしても密になってしまう場合には、

定期的な手指消毒やマスクを着用するなど、できる方法で感染対策をとりましょう。

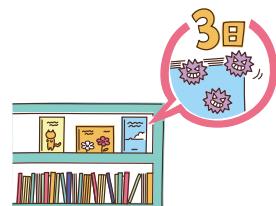


Q4.

部屋での遊びは常に密で、毎回毎回消毒などできないのですが、閉所後消毒しても効果は得られますか？

A

物に付着したウイルスは、3日程度は存在しているため、閉所後の消毒でも効果はあります。



Q5.

遊具や普段触れるもの、壁手すりなど、どれくらいの頻度で除菌が必要でしょうか？

A

消毒はやればやるだけ効果はあります。使用的な遊具やオモチャを減らすことでの業務を調整し、実現可能な回数を設定することもひとつの案かもしれません。



Q6.

毎日床に漂白剤を希釈^{*1}して使用していますが、注意書きに肌の弱い人への配慮が書かれています。子どもが手に触れる机や玩具消毒に使用しても差し支えないでしょうか？

A

市販の漂白剤などを規定量に薄めた次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、遊具や床などの物に対しての消毒効果はあります。人体に影響があるので、水溶液が残った状態で触れることを避けるため、しっかり拭き取る必要があります。

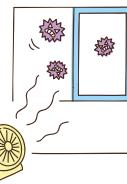


*1 厚労省ホームページ参考

Q7.

A

換気がなかなかできない部屋の作りで困っています。空気清浄機やサーキュレーターを数台入れていますが、いい案はないでしょうか？



換気は常にすることが効果的です。風通しの悪い部屋の近くの窓に扇風機やサーキュレーターを置き、窓の外に向けて使用することで、換気量を増やす事ができます。

Q8.

A

今まで子どもたちに配膳などを手伝ってもらっていましたが、今は職員のみで行っています。学校の長期休業期間中はケータリングを交えて昼食を行っていましたが、今年はすべて弁当持参をお願いしています。やっぱりケータリングは危険でしょうか？



加熱調理を行えばウイルスは死滅するので、ケータリングは危険ではありません。

それ以外の料理も、配膳の際にウイルスが付着する事が考えられるため、

マスクを着用し、手指洗浄をしっかり行ってから配膳を行えば、感染リスクは抑えられます。

Q9.

A

対面して食べることを禁止していますが、どうしても一部の子どもは対面で食べてしまいます。



対面での食事を減らすことや会話を減らすことは感染予防にはつながりますが、子どもから子どもへの感染は低いため、徹底させるべきかは、子どもたちの様子を見て検討しても良いと思います。

Q10.

A

子どもたちに屋外でおやつを提供したいのですが、どういったコロナ対策が必要になるでしょうか？



おやつを配る先生、子どもたちが手洗い、手指消毒を行う対策が必要です。

ただ、子ども同士でお菓子を分け合ったり、

別の子がお菓子に触ることはリスクがあるので、その場で食べさせるようにしましょう。

Q11.

A

遠足や集客イベントをすべて中止し、工作中心のイベントにシフトしています。

活動計画を立てる上で、

それらのイベントは引き続き中止したほうが良いでしょうか？



遠足等に関しては学校現場でも実施しているので、バス内でのマスク着用、手指消毒など、日頃の感染対策を行事中も継続して行い、

地域の感染状況で実施を判断しても良いと思います。

Q12.

A

例年行っている活動は何もできていません。学童でのお泊り会も行っていませんが、お泊り会も自粛したほうがいいでしょうか？



宿泊行事は、家族以外の人と食事、入浴、トイレなども共用するため、感染リスクは高いと言えます。

注意！

- 室内に向けて扇風機を稼働させると、ウイルスが部屋中を動き回ることになります。
- 空気中のウイルス対策として消毒剤を空間噴霧することは、厚生労働省では、人の健康に有害となる可能性があるため、お勧めしていません。
- 塩素系漂白剤を薄めた次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、空間噴霧をすると人体に影響があるため絶対に行わないでください。

参考資料:厚生労働省ホームページ 新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について

6 コロナ禍を子どもの 環境を見直すチャンスに

子どもにとっての『新しい生活様式』は、
今までよりもっと良い子どもの環境をつくるチャンスです！
コロナ禍の感染対策を考える際に、子どもの暮らしや発達を中心に置いて、
子どもが日常を過ごす居場所のあり方を見直してみませんか？

コロナ禍を、子どもと向き合う 本質を探究する機会に

うるま市 コスモストーリー保育園 天願 順優さん



本園では、コロナ禍において保育を改めて見つめ直すことで、保育の質向上に繋がる機会になりました。以下では、その主な取り組みを2点ご紹介します。

取り組み1 まず、食事する際の工夫は、3密を避けるだけではなく、お腹のすくりズムに合わせて食べられるようにしました。子どもの朝食の時間は、家庭環境などの背景によって違うので、**子どもが自分でお腹がすいた時に食べられるように**することで、食への意欲が高まる機会になっています。

取り組み2 例年行われていた行事の見直しを行いました。例えば、運動会のように大勢が集まって運動をすることでなくとも、子どもは普段の遊びの中で多様に身体を動かしています。そのため、それぞれの子どもの遊びから見えてくる運動的な育ちを動画配信することにしました。そうすると、スポーツ的な運動だけではなく、子どもが木の実を採取する姿など保育園のさまざまな環境で身体を楽しそうに動かしていることの発見にも繋がりました。

以上のように、コロナ禍において子どもと向き合う本質を探究することで、活動や行事の規模や内容を変更しても、保育の質を高めることに繋がっていると感じています。



情報ページ

information

このガイドブックは
下記のホームページを参考にして作成しました。

新型コロナウィルスに関する
政策、対策などの情報が随時更新されています。

厚生労働省ホームページ
新型コロナウィルス感染症について



県内の感染状況や対応についての情報が更新されています。

沖縄県ホームページ
新型コロナウィルス感染症関連の特設サイト



感染症専門の様々な情報が発信されています。

一般社団法人日本感染症学会ホームページ
新型コロナウィルス感染症



新型コロナウィルスについて、子どもに関する情報が発信されています。

公益社団法人日本小児科学会ホームページ
新型コロナウィルス関連情報



コロナ禍の子どものストレスとそのケアについてなど、
家族や支援者向けの情報が発信されています。

国立研究開発法人国立成育医療研究センターホームページ
新型コロナウィルスと子どものストレスについて



子どもの心のケアのポイントや、
関わり方についての情報が発信されています。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンホームページ
「子どものための心理的応急処置」



新型コロナウィルスの世界での動向や情報が発信されています。

世界保健機関(WHO)ホームページ
新型コロナウィルス感染症(COVID-19)WHO公式情報特設ページ



